



カラモアン わが村

—フィリピンの村人たち—

16ミリ・カラー・34分・170,000円

企画／(財)家族計画国際協力財団

■解説

フィリピンは、ルソンとミンダナオの2つの大きな島を中心に、西太平洋上に散在する大小700あまりの島々からなる国である。人口は約3700万人。サンゴ礁の島々が浮かぶ美しい海と、熱帯の自然に恵まれた人々の暮らしは決して豊かとは言えない。しかし、ここ数年フィリピンの町や村では、住民たちにとって身近で切実な問題である栄養や寄生虫駆除、家族計画等の運動が住民たち自身の手で進められ、人々の生活は次第に変わりつつある。

ルソン島南部の村カラモアン。そこには、貧しいが陽気な人びとの暮しがある。この映画は、この村で様々な保健活動に奔走する医師や神父、寄生虫駆除チーム、そして母親たちの姿と、その運動の広がりを描いたものである。寄生虫駆除から始まったこの運動は、保健活動だけにとどまらず、それをきっかけにして、地域活動全体の運営委員会に発展した。のど自慢コンテストの開催、ボクシング大会の復活、そして母親学級の卒業式での芝居や踊りのアトラクション……。娯楽の少なかった村には、人々の笑顔があふれていた。

これらの運動を通じて、子供の幸福を考え生活を改善しようとする彼らのひたむきな姿は、観る者の共感を呼ぶだろう。東南アジアへの真の理解は、こうした民衆レベルでの理解からこそ、生まれてくるはずである。

■あらすじ

マニラから、飛行機と車と船を乗りついで5時間。ルソン島南部の村カラモアンを訪ねた。村びとの99%が熱心なカトリック信者という、半農半漁の村である。

この村に毎週一度、マニラからかよってくる医師、ロア博士。三年ほど前から、村の子供の80%が栄養不良であるというこの村で、寄生虫駆除の運動を続けている。学校の先生方の協力を得て、学童の駆除から始まったこの運動も、村のリーダーや神父さん、そして若い看護婦さんや検査技師なども加わってチームをつくり、村全体の保健活動に進展していった。しかし、へ



き地の医療は、今だに祈禱師に任されているのが実情で、スタッフによって、新たに医療や正しい家族計画法の普及が運動に加えられた。最近では、チームが中心となって村の様々な催しを企画し、ボクシング大会の利益で購入したサンダルが子供たちに配られ、喜ばれている。

自分たちの健康は自分たちの手で——カラモアンの人々は今、新しい一歩を踏み出したのである。

アジア映画シリーズ

■スタッフ

製作 村山英治
脚本 村山正実
演出 北川英雄
撮影 浜坂福夫
音楽 鈴木瑞穂
解説 鈴木瑞穂

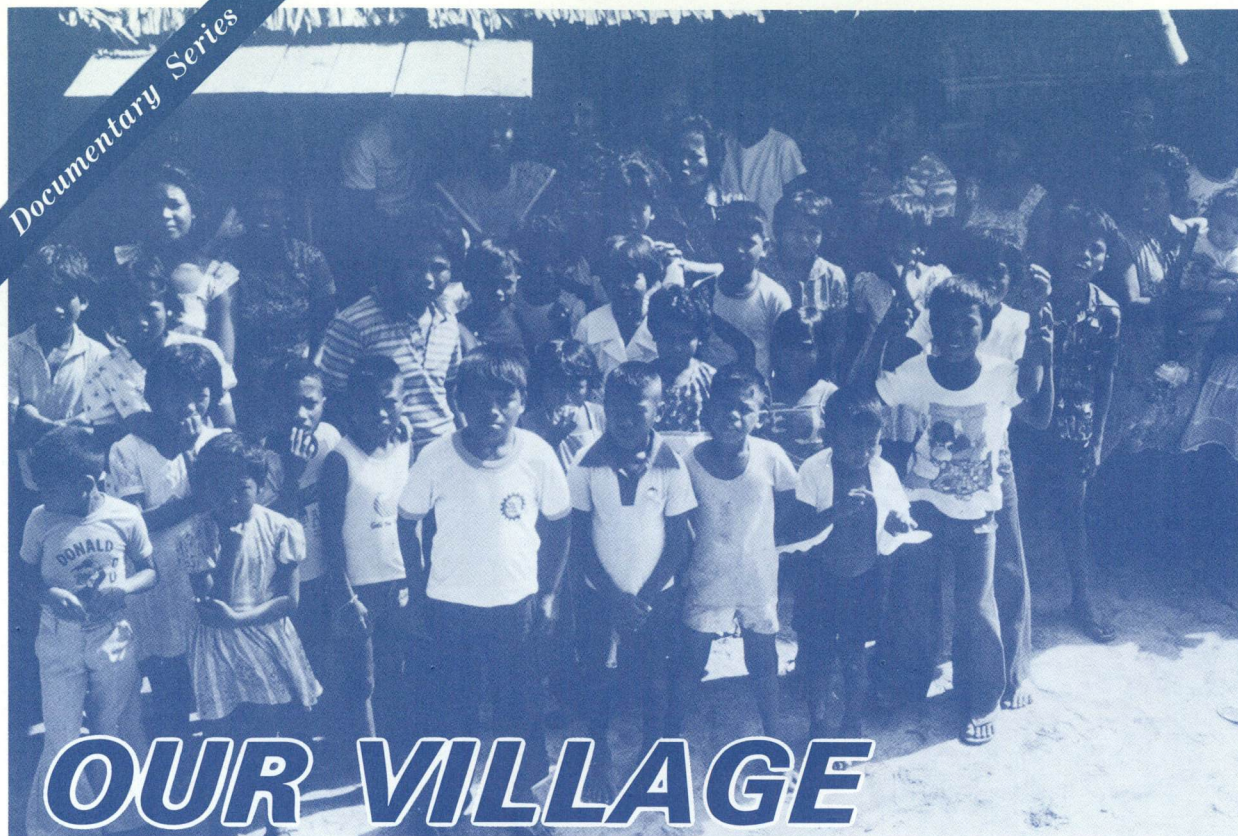
- ①インドネシアの母たち
- ②スマトラ物語
- ③村に生きるスラベシ島の人々
- ④カティワラ(フィリピン)
- ⑤アメナ(バングラデシュ)
- ⑥菩提樹の下で(スリランカ)

■製作■

株式会社 桜映画社
東京都新宿区西新宿1-22-1
〒160 電話03(342)5768

■配給■

Documentary Series



OUR VILLAGE OUR FUTURE

—An Experience with the Integrated Family Planning—

16mm Color / 34 min. / English, Japanese

Directed by Sakura Motion Picture Co., Ltd. Standard Bldg., 22-1, Nishi-Shinjuku 1-chome,
Shinjuku-ku, Tokyo 160, Japan Phone: 342-5768 Cable: SAKURAMOVIES TOKYO

A Filipino doctor's struggle to improve rural health through the promotion of the Integrated Project.

SYNOPSIS

Caramoan is a remote, rural area in southern Luzon Island, five hours from Manila using three transportation methods: plane, car and boat. About 99% of its 49 village inhabitants are Catholics that live on a small-scale fishing or farming.

In 1977, Dr. Nilo Roa started mass inspection and deworming of elementary school children with the cooperation of school teachers. Such movement gradually expanded to the surrounding barangays, and finally came to involve many influential people such as village leaders, Catholic priests, nurses as well as medical technicians.

Medical care, however, still relied on traditional

methods, and it was quite common for witchdoctors to conduct abortions by pressing a pregnant woman's stomach. So the project promoters started to teach proper family planning. This was especially welcomed by the women.

Other activities have also taken place with the participation of all the Caramoan people, and the people are slowly but steadily starting to realize that they should take care of their own health.

Caramoan, a once-neglected remote area, has thus been awakened through the vigorous efforts of a Filipino doctor and the project staff who used parasite control as a point of entry.

Japanese Organization for International Cooperation in Family Planning (JOICFP)

JOICFP

Hoken Kaikan Bekkan, 1-1, Sadohara-cho, Ichigaya, Shinjuku-ku, Tokyo, 162 JAPAN

Phone: 268-5875/Cable: JOICFPJAPAN TOKYO